

飯能西中だより



天覧山 7月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和3年度 第4-1号
令和3年7月1日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

皆様に支えられ 飯能西中学校は今年50周年の節目を迎えます。

平和のために私たちがすべきこと

校長 中村 公一

梅雨の季節も本番を迎えました。雨の合間に顔を出す太陽の日差しが強くなり、夏がすぐそこまでやってきていることが感じられます。生徒達は今まさに期末試験の真っ最中で、夏休み前の試験に向き合っているところです。6月は大会や行事もありなかなか勉強が手につかず大変だった人もいることでしょう。けれどもそれぞれの未来のために、学びから逃げずに頑張りたいものです。

さて、先月の6月23日は、沖縄県民のうち4人に1人が命を奪われたという沖縄戦での戦没者を悼む「慰霊の日」でした。戦後76年経った今でも沖縄を始めとして日本全国で心身の傷が癒えないまま生きていらっしゃる方は少なくありません。しかし一方において、私を含め戦争体験のない大人が増え、心の底から戦争は嫌と言える人が少なくなっているのも現実だと思います。

私が高校生の頃通っていた学校では修学旅行の行き先が常に広島と決まっていた。平和学習には特に力を入れている学校でした。確か1年生の社会科の授業の時でした。担当の先生が私達に「平和の反対って何だと思う？」と質問したことがありました。多くの生徒が「戦争」と答えたと思います。先生はそれに対してこう言いました。「なるほど、トルストイの『戦争と平和』っていうのがあるからな。でも、戦争が無ければ本当に平和な世界と言えるの？」私たちが答えに窮していたところ、先生は更に続けました。「平和の大切さを理解するためには戦争の悲惨さを心から感じる必要がある。でも、それだけでは知識の上で平和を願っているだけ。僕はね、世界中の全ての人が一人一人の一生を人間らしく全うできる状態が平和だと考えている。そのために僕らは何をしたらいいのか、僕らのしていることが意味のあることなのかどうかを日々考えることが平和学習なんだ。そしてそれは生きている限り一生続くものなんだと思う。そうすれば谷川俊太郎が「生きる」の中で言っている「かくされた悪を注意深く拒むこと」にもつながっていくんじゃないかな。」クラスのあちらこちらから「おー、そうなのか」という溜息のような声が聞こえたのをよく覚えています。

今の世界の様子を考えてみると、以前のような国家同士の大規模な戦争が無くなる一方で、紛争やテロなどが頻繁に起こるようになり、出口の見えない暴力が慢性化しつつあります。その他にも未だに解決されていない差別の問題や偏見の問題、貧困の問題からもたらされる「構造的暴力」も見逃せません。平和を願うだけで無く平和のために一人一人が何をすることが大切なのだと思います。

素直さは一生の宝

生徒の皆さんへ

近頃は外から入る風が心地よいので校長室のドアを開けて仕事をしていることがよくあります。先日、校長室の前を通った生徒が、中で仕事をしている私に気が付いて「こんにちは」と挨拶をしてくれました。「挨拶をしよう」と私が前に言ったことを素直に受け入れてくれていることが嬉しくなりました。そのときは仕事の難しいことを考えていたので、私から「こんにちは」と返すのが遅かったかもしれません。気を悪くせずまた声をかけてくれるとうれしいです。

素直に謝ること。素直に教わること。素直に助けをもらうこと。この三つは仕事をする上でとても大切なこととされています。飯能西中学校の皆さんの中にある素直さ。これから社会に出て行く皆さんにとってこれは一生の宝になることと思います。

校長講話から

6月22日(火)の学校朝会では、まず世界3大発明の話から始めました。一般に世界三大発明とは「火薬」「羅針盤」「活版印刷」のことを指しますが、これに「紙」を加えて、世界4大発明ということもあります。これらを用いることをきっかけとして、人間は自らの活動範囲を大きく広げて飛躍的な発展を遂げてきました。特に紙と活版印刷によって作られた「本」は、それまでにあった多くの知識や考え方をまとめ、一度に多くの人に伝えるという役割を果たすとともに、知識を集積する手段としても大きな意味を持っています。4大発明の後も多くが発明が生み出され、科学技術の進歩により最近の発明品の中には仮想現実(VR)や拡張現実(AR)というものもあります。これらが電気や機械といった道具を使うものなのに対し、先ほどお話した本という物は、それを取り扱う際、視力に問題が無ければ電気や機械は必要ではありません。皆さんにはここで改めて本の素晴らしさを理解しておいて欲しいと思います。さて、このように人間は知恵を使って様々なものを生み出し、私たちの暮らしを豊かにしてきました。しかし「火薬」を例に取ってみれば分かるように、どんなにそれがよい発明であったとしても使い方を誤れば人を傷つけることや人の命を奪うことになりかねません。原子爆弾などはその最たる例かもしれません。いじめなどの問題にしてもそうなのですが、どうしたらバネずに相手にダメージをあたえることが出来るかとか、どうやって相手をからかったら面白いかなどということを考えることは、正しい知恵の使い方とは言えません。知恵というものは正しく使わなければいけないのです。

このように考えてくると知恵を正しく使うためには普段から自分の行動を律することが出来ていなければいけないということがよく分かります。人間は知恵を使い、よく話し合っ、よく考えて行動することによって自分の将来を変えることが出来る唯一の生き物です。ですから、何をしたらよいかよく考えて行動することが出来なければ人間らしく生きているとは言えないのです。これは子どもだけでなく大人についても言えることです。自分にとってふさわしいことは何かを常によく考えて行動することができる人でありたいものです。

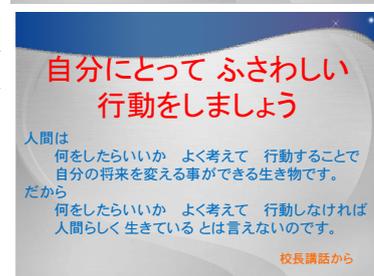
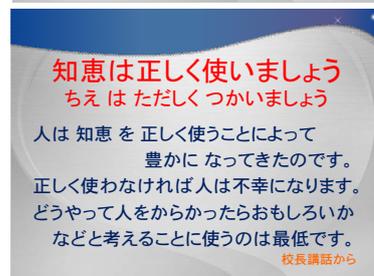
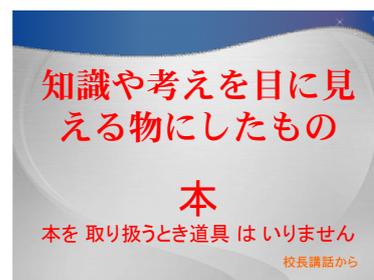
学校総合体育大会がありました

先日、学校総合体育大会入間西部地区予選会がありました。いわゆる部活動の大会です。時間の都合でどうしてもすべての会場を回ることは出来なかったのですが、訪れたどの試合においても、生徒たちと顧問の先生が一体になって勝利を目指している姿が見られて心が熱くなりました。残念ながら予選で敗れたチームは多いのですが、大切なことは負けたことから何を学ぶかです。少しでも後悔というものがあるのなら同じことをしないように一層の練習に励むことです。

人は苦しんだり、悲しんだり、悔しい思いをした分だけ、強く、優しく、逞しくなれるのです。現実をきちんと受けとめ、昨日の自分より今日の自分が成長したと実感できる毎日を過ごしましょう。

○ 7月の主な行事予定 ○

1日(木) 期末テスト 給食・清掃無し	19日(月) 学期末短縮日課 3時間・給食無し
2日(金) 期末テスト	20日(火) 1学期終業式
7日(水) 全校保護者会	21日(水) 夏季休業日(8月24日まで)
13日(火) 学期末短縮日課(4時間授業)	8月25日(水) 2学期始業式
16日(金) 学期末短縮日課(4時間授業)	26日(木) 給食開始・自転車点検



学校総合体育大会における各部の成績	
陸上	男子 400 m R 3 位, 1 年男子 100 m 2 位 (喜友名), 1 年男子 1500 m 2 位 (石森)、女子走り高跳び 2 位 (福士)
野球	決勝戦で 4 - 2 で加治中に勝利し県大会出場
ソフトボール	決勝戦で 11 - 4 で高麗川中に勝利し県大会出場
サッカー	2 回戦で武蔵台中と対戦 0 - 2 で惜敗
男子テニス	個人戦でベスト 8 に 1 組, 団体戦は高萩中に惜敗
女子テニス	個人戦でベスト 16 に 1 組, 団体戦は高萩北中に惜敗
卓球	個人戦で優勝 (佐々木) 団体戦は予選リーグで惜敗
剣道	男子 団体戦惜敗 女子 団体戦優勝 個人戦準優勝 (横堀) 3 位 (野村)
女子バスケット	高麗川中と対戦 惜敗
男子バスケット	高萩中に勝利するも高萩北中に 49 - 50 で惜敗